

こころのふるさと
滋賀・びわ湖

満々と水をたたえた琵琶湖。

深い緑の四囲の山並み。

先人が築きあげた歴史遺産の静かなたたずまい。

古の昔より、恵まれた自然の中で豊かな情操をはぐくみ、
すばらしい文化を創造してきた滋賀県。

今も、自然と歴史・文化が織りなす温かな風情は、

滋賀ならではの深い味わいを醸し出し、

人びとが置き忘れてきたなにかをふと、とり戻してくれる。

「滋賀・びわ湖」は、そんな安らぎのある、

人びとの心のふるさとです。

出発日限定

3月23日(金)～・24日(土)【一般参加】

3月25日(日)～・26日(月)【学生参加】

琵琶湖周航の歌テーマ

琵琶湖魅力体感

参加費無料

※詳細は下記Web参照下さい。

モニターツアー

申込み詳細はWebから

…<https://va.apollon.nta.co.jp/biwakomiryoku/>



琵琶湖周航の歌とは…?

琵琶湖を時計回りにボートで周航 今日は今津か長浜か

「われは湖の子(うみのこ)さすらいの」が歌い出しの『琵琶湖周航の歌』は、大正時代から学生歌・寮歌として歌い継がれてきた風景歌。

原曲『ひつじぐさ』のメロディを用いて、京都大学(当時は第三高等学校)の学生だった小口太郎により作詞されました。

加藤登紀子のカバーになどより全国的に広まったのちも、京都大学ボート部の部員等によって歌の伝統は守られています。



イメージ

観光案内

竹生島



イメージ

沖合約6kmに浮かぶ周囲2kmあまりの小島で、宝厳寺と都久夫須麻神社が祀られています。宝厳寺の本尊は弁才天と千手観音。弁才天は安芸の宮島、相模の江島とともに日本三弁天に数えられています。また、中世以来西国三十三所観音霊場の三十番札所として多くの参詣客で賑わっています。



宝厳寺 イメージ



都久夫須麻神社 イメージ



歌碑 イメージ

今津港



イメージ

琵琶湖を望む今津港に、今津町の地形をかたどった琵琶湖周航の歌の歌碑があります。赤御影石で作られた歌碑には、周航の歌の歌詞 1 番から 6 番までが刻まれています。

大津港



イメージ

旧制第三高等学校旧艇庫前に、われは湖の子と刻まれた碑が立つ。副碑には、ボートの中で作詞されたという琵琶湖周航の歌の歌詞が刻まれている。

琵琶湖周航の歌資料館



イメージ

イメージ

「♪われ～は湖の子～」と琵琶湖の叙情的な周航を歌い上げた「琵琶湖周航の歌」は今津町で誕生しました。資料館では、歌のできた経緯や作者の紹介などの資料を展示しているほか、多数の歌手、演奏家による「琵琶湖周航の歌」を気軽に聴くことができます。

歌碑



イメージ



イメージ



イメージ

「琵琶湖周航の歌」誕生百周年を記念して、市民有志により、平成29年6月25日に3番の歌詞を記した歌碑が浜辺に設置されました。この歌碑はガラス製でベンチとして利用できます。

彦根城



イメージ

姫路城などとともに天下の名城の一つに数えられる彦根城は、井伊直継・直孝（なおたか）によって約20年の歳月をかけて建設され、元和8年（1622）に完成しました。佐和（さわ）山城・安土城・長浜城・大津城の石垣や用材が使われました。月明かりに浮かぶ彦根城は美しく、琵琶湖八景の1つに数えられています。明治時代の廃城令や戦火を免れた彦根城の勇壮な姿を、城内散策で眺められます。また、彦根城の別名金亀城（こんきじょう）の名は、彦根城築城以前、彦根山上にあった寺院に金の亀に乗った観音像が安置されていたため、と言われていました。国指定の特別史跡です。お山の鐘として、市民に親しまれている彦根城の時報鐘。この鐘、当初は鐘の丸に設置され、ご城下に時を知らせていましたが、幕末期に、より遠くまで音色の美しいときを知らせようと、多量の小判を投入した鐘に造り直され、太鼓門近くの高台に移されました。

【お問合せ・お申込み】

旅行企画・実施 官公庁長官登録旅行業第2号



株式会社日本旅行

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4大阪駅前第4ビル5階
総合旅行業務取扱管理者/池田 智幸

担当: 山本・瀬川・浦田 電話: 06-6342-0230

西日本MICE営業部

【営業日・営業時間】
月～金/09:45～17:45
土・日・祝/定休日

【お問合せ】

公益社団法人
びわこビジターズビューロー

電話: 077-511-1530

担当: 吉原・丸田